

令和5年第3回吉備中央町議会定例会一般質問通告まとめ

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
1	9	成田賢一 (一問一答)	<p>公金の使い方からみる、考え方について</p> <p>1.町長交際費について</p>	<p>町長交際費とは、「地方公共団体の円滑な行政運営を図ることを目的に、町長が、町を代表し、外部の個人、または団体と交際するために要する費用」(町HPより)である。</p> <p>私は令和3年12月議会一般質問にて、情報公開条例に基づき、町長交際費の公開を提案し、令和4年4月度より町長交際費は町ホームページで公開が開始された。昨年度の交際費の支出内容で、町長交際費としては不適切ではないか、と思われる内容から、執行部の考えを問う。</p> <p>①12月2日の行政懇談会の会費、35,000円である。この懇談会は町商工会と執行部が町政について意見交換を行う場である。この会費は、副町長や担当課長など、町長以外の執行部6人分の会費を町長交際費で支払っているのでは。交際費の支出基準に抵触するのではないか。</p> <p>②2月28日、および3月31日の退職職員餞別は計110,000円である。退職職員には別途退職手当が支払われているが、なぜ、町長交際費から退職者への餞別を支出するのか。交際費の支出基準に抵触するのではないか。</p>	町長
			<p>デジタル田園都市国家構想交付金事業について</p> <p>1.規則、要綱の改正について</p>	<p>私は令和4年12月議会一般質問にて、町からデジタル協議会に補助金として5億円が交付されている件に関し、補助金等適正化に関する規則に抵触しているのではないかと質問した。執行部からは規則並びにデジタル田園都市国家構想交付金交付要綱に基づいて行なっており適正だと答弁があった。しかし、令和5年3月23日付で、規則と要綱は改正された。</p> <p>①規則、要綱に則り適正だとの答弁があったにも関わらず、規則・要綱が改正されたのはなぜか。</p>	町長
			<p>2.令和4年度デジタル事業の総括について</p>	<p>総額約5億円の事業費が使われた令和4年度デジタル田園都市国家構想推進交付金事業における総括を問う。</p> <p>①デジタル事業を進めている現状を見つつ、令和3年10月15日に国に提出したスーパーシティ構想の計画書を再確認している。すると、計画書22ページに「ウィラバは2022年4月より、岡山県&福山市の全分娩施設から、随時、妊産婦に配布開始が決定」と記載されていた。福山市役所に尋ねたところ、福山市は母子モを導入しており、ウィラバはきいたことがなく、配付実績もないとの返答であった。現状、ウィラバは吉備中央町以外では採用されていない。では、何を根拠に、岡山県や福山市の全分娩施設に配付が決定していたと記載したのか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(9)	成田賢一 (一問一答)		<p>②事業開始前の実施計画と、実際に実施年度が終わった現在での、その進捗状況や達成度の説明を。</p> <p>③町民がデジタル事業を直接体験できるサービスの一つに、きびアプリがある。この開発を担った十字屋は、昨年3月のスーパーシティ構想推進協議会や、6月のデジタル推進協議会には出席していなかった。しかし、8月8日に設立された有限責任事業組合(LLP)に加盟していた。町内の他の企業などには組合への加盟促進は行われていないが、アプリ開発が専門ではないこの企業がLLPに加盟し、アプリ開発を担った経緯は。</p> <p>④デジタル事業の予算内で、拠点整理、建物・設備関連ということで、ハード経費インクルーシブスクエア施設改装、設備整備として、1,980万円の予算が上がっていたが、未執行であった。昨年度の事業経費内訳で未執行であったのはこの項目だけであった。なぜ未執行となったのか。</p> <p>⑤LLPの組合員のうち、半数以上はこの事業を管理監督するデジタル推進協議会のメンバーである。ほぼ同一の団体が自らを管理監督していると感じられるが、客観的視点から事業を総括するにおいて、何を重要視し、どのような方法で事業を管理監督しているのか。</p>	
			3.令和5年度デジタル事業について	<p>今年度、町ではデジタル事業において2つの事業を行う。1つは、地方創生テレワーク事業、もうひとつは誰ひとり取り残さないエンゲージメントコミュニティの創生事業である。</p> <p>まずは地方創生テレワーク事業について問う。</p> <p>①地方創生テレワーク事業の概要は。</p> <p>②この事業では、民間企業(行政文書より、ナカシマホールディングス所有。以下N社)の新築の建物が選定された。コワーキングスペース事業を行う他の企業が町内にあるにも関わらず、N社の新築建物が選ばれているのは何故か。</p> <p>③今年度の歳入で、N社からの企業版ふるさと納税による寄付金が計上されている。この寄付額と、地方創生テレワーク事業における町費負担が同額である。これでは、町費負担の軽減の見送りに、企業が国の交付金を受けていると見ることができる。これでは、企業版ふるさと納税において、内閣府が禁止している「寄付を理由とした補助金の交付」に該当するのではないか。</p> <p>次に、誰ひとり取り残さないエンゲージメントコミュニティの創生事業について問う。</p>	町長
					町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(9)	成田賢一 (一問一答)		<p>④救急救命や遠隔診療などの事業は今年度内に実装されるのか。今年度構築事業において、町民が実際に受けられる事業は何があるのか。</p> <p>⑤今年度事業を受けて、来年度にかかる運用費はいくらになるのか。</p> <p>⑥現在までの町のデジタル事業では、役場内のDX化による職務の合理化、簡素化を目的にしているデジタル事業への投資が、随分少ない。20代、30代、40代など、若い職員の中には行政のデジタル化に関し、積極的に行いたい希望者も多数いる。職員の希望や要望を聞きながら、役場全体で庁舎内DXを推し進めることが、少子高齢化社会での業務遂行や、職員数が減少する中での地方公共団体運営に欠かせないのではないかと。役場内のデジタル化を積極的に行わないのはなぜか。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
2	1	日名義人 (一問一答)	デジタル田園都市国家構想交付金事業について	地域課題解決は LLP 主導（任せ）でなく住民本位・町行政主導で。今年度体制に加味された各課横断の職員プロジェクトと LLP の関係・相互の役割について問う。	町 長
			1.職員プロジェクトについて	①タイプ 1 では、業者主導の初年度実装で地域実態・住民要求のずれが目立ったが、総括は進み、解決解決の課題は明らかにされただろうか。この時自治体職員プロジェクトの主体性は生かされたか。	
			2.本格運用に向けて	①タイプ 3 の本格運用開始となる。住民要求に向き合ってきた職員集団・プロジェクトの役割は大切。そのためには LLP との相対的独立性保持の上の連携が不可欠。町長と担当課の認識を問う。 ②開発された LLP 所有のシステムで公共のサービス提供（営業）が始まる。企業営業とそのサービスを享受する住民間に、「誰一人取り残さない」公正公平性確保と新たな格差を生まない住民負担に町行政はどう対応していくのか。	
3.職員の専門性、会計年度任用職員の多用について	質問に入る前に今年度の会計年度任用職員の総数と配置状況を聞く。 ①「デジ田事業」進行から「自治体職員の専門性と責任」への問い直しの必要が見えてきている。自治体職員の専門性は「住民福祉の増進」を担うことが原点。現在、先端技術で作られ出されたサービスを自治体行政・公共サービスに生かすための「制度づくりと運用」、それを担う専門性と力量が問われる。このことにふさわしい職員の待遇改善が必至か。 ②また、専門性を生かし、先の成果を見通して積み上げることが遣り甲斐の基礎かと思える図書館、こども園・キッズパークなどの職域にそれに見合う待遇改善を。 ③自治体DXの進行は新たな「合理化（定数削減）」も危惧される。例、窓口・事務のデジタル化で余剰人員、オンライン診療で医者要らずなどの流布が・・・。	町 長			
中山間地農業政策について 「生き残り」策を本気で	①食糧、農業、農村基本法見直し論議の中間まとめが報道されている。その内容は厳しい実態も反映されているが今後の対策はこれまでの踏襲か。今こそ本気で食糧の自給率向上を基本に据えた、中山間地の多様な営農を励ます農業政策確立と予算増を国に要請していくことが必要では。	町 長			

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(2)	(1)	日名義人 (一問一答)		②本町でも過疎・高齢化の中、土地集約型の大規模化・効率化が限度となりつつある。ふるさと米等これまでの成果の上に持続可能な農業を基本にした小規模、兼業、新規就農等、多様な農業経営を励まし、荒廃化防止・生き残り策に軸足を置いた農政の提示が求められている。町長の認識を問う。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
3	2	加藤高志 (一問一答)	温暖化対策について	地球温暖化対策推進法に基づき、町は2021年2月2日に「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しているが、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき2006年に事務事業編として「吉備中央町地球温暖化対策実行計画」を策定するも目標年度2010年度における排出量・削減率ともに未検証であるとともに計画期間の5年を超過している。 また、区域施策編の計画策定及び2022年4月より施行された地球温暖化対策の推進に関する改正法において課せられた施策目標や促進区域の設定も検討すらされていない。	町長
			1.脱炭素の取組みについて	炭素総排出量及び削減率の検証及び促進区域の設定ならびに政府実行計画に準じた措置(太陽光発電・建築物省エネ対策・EV車導入・LED化・再エネ電力調達)をどのように実行するのか。(管理支援システムLAPSS活用しているか)	
			2.再エネ電力の調達について	政府実行計画に準じた措置として、町内の既存または新設太陽光発電所等を活用した「町内完結した再エネルギー調達(地産地消)」を目指すべく、吉備中央町地球温暖化対策実行計画の促進事業編で促進地域(モデル)を設定・実証し、デジ田事業と相乗できる再エネ調達環境を構築すべきではないか。	町長
			3.スクールバスについて	小学校統合後におけるスクールバス購入予算を計上しているが、購入車両の選定は温暖化対策を考慮した検討となっているのか。	教育長
			組織体制について	総務省(自治行政局市町村課)が令和3年10月に取りまとめた「自治会活動の持続可能性」で、市区町村における自治会の負担軽減策について次のように紹介している。「取り組んでいる」と回答した市区町村は1,099団体あった。具体的な取組内容は.. ①活動場所の提供支援 ②市区町村の担当窓口の一元化(地区担当職員制度か自治会担当窓口を設置) ③市区町村の広報物の直接配布 ④行政が委嘱する委員の見直し...の順に多かった、との内容。	町長
1.担当窓口一元化について	例えば「きびアプリ」で得られる●母子保健・児童見守り●介護・高齢者見守り(コンシェルジュ、なんでもサポート、未病対策サポート etc)●インクルーシブスクエア等の各種サービス効果を考察すると、一概には評価できないが将来デジ田事業が行政サービスの一端を担う方向に進捗するものと推察する。言い換えると関係職員の負担が軽減される..とも理解できるので、軽減分を「自治会担				

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(2)	加藤高志 (一問一答)		当窓口」の新設あるいは「地区担当職員制度」を導入するなど、地区問題にノンストップ対応できる一元化及びデジ田事業との相乗化を図るべく体制の見直しをすべきではないか。	
			2.委員委嘱見直しについて	<p>少子高齢化の折、委嘱委員数と地域情勢とのギャップが生じてないか。栄養委員を例にすると、一部の地域では欠員の状態である。</p> <p>栄養委員が、地域における食育推進の担い手として欠かせないのであれば欠員地域には何らかの対応が必要であり、真に地域情勢上やむを得ないのであれば委員委嘱内容の見直し(他委員と兼務も視野)も必要なのではないか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
4	8	黒田員米 (一問一答)	デジタル田園都市国家構想交付金事業について	(ア) 積極的かつ確実にデジタル田園都市国家構想交付金事業を推進するためには、さらなる専従職員の増員を図り組織の機能強化を行うべきではないか。	町長
			1. デジタル田園都市国家構想交付金事業の推進について	(イ) 交通DXについての現状を行政としてはどのように分析をしているのか。さらに今後の取組みはどのように考えるのか。	
				(ウ) インクルーシブスクエア(きびアプリ運営実施組織)の役割は何か。また、運営方法はどのように行うのか。	
			会計年度職員について	(ア) 会計年度職員のパートとフルタイムの雇用条件にはどのような違いがあるのか。それぞれ残業・休日出勤・振休・副業は認められるのか。	町長 教育長
		1. 会計年度任用職員の雇用条件について	(イ) 会計年度任用職員は学校評議員など公的役職への出席の際に有給休暇を取得した場合には、公的団体から報酬は受け取ることができないのか。できないとすれば何故できないのか。また他の自治体ではどのように取り扱っているのか。		
			子どもの悩み相談について	(ウ) 会計年度任用職員の旅費はどのようになっているのか。	教育長
			1. 悩み相談へのSNSの活用について	(エ) 放課後児童クラブの指導員について、公設公営になった場合に身分は会計年度任用職員となると思われるが、その雇用条件はどのようになるのか。本年度中に公開すべきではないか。	
				(ア) 現在、小中学校において子どもの悩みごとについてはどのような形で受付、収集を行っているのか。	
				(イ) 小中学校の学習者用端末タブレットから子どもの心配ごと相談はできるのか。できるとすればその内容は。反対にできないとすれば今度できる体制づくりに取り組むのか。	
				(ウ) 保護者の悩みについての相談窓口は有るのか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(4)	(8)	黒田員米 (一問一答)	生成 AI について 1.生成 AI の活用について	(ア) 町としては、生成 AI の活用をどのように考えるか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
5	7	山崎 誠 (一問一答)	デジタル田園都市国家構想交付金事業3プロジェクトの成果と今後の運用について	<p>昨年4月、デジタル田園健康特区の指定を受け、3つのプロジェクトがスタートした。交通DX、鳥獣対策DX、誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生で、合計4億9,400万円余が投入された。プロジェクトの目的は「地域の個性を活かし、デジタルの効果を実感できるサービスを地域・暮らしに実装する」とされた。大きな期待を持っているが、町民の利便にどのよう適っているのか不明な部分も多くある。各プロジェクトの成果と今後の運用について尋ねる。</p>	町 長
		1.交通 DX 実装プロジェクトについて	<p>交通DXは諸費を除き6,050万円が投入された。</p> <p>①新山地区でのマイクロEV（電動車いす）と、3輪スクーターバイクが導入され、昨年11月30日大々的に運用開始式が開かれた。その後半年経つが、利用は低迷し、十分な成果が得られていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半年間でどの程度利用されたのか。 ・利用低迷の原因を分析しているか。 ・マイクロEVの配置地区を他の地区に移す意向が示されたが、新たに配置される地区、使用目的、期間、稼働の見通し。 ・マイクロEVは1台40万円と比較的高い価格で購入している。新山地区から出ている未達の改善要望は実現するのか。改善に要する費用は町負担か納入業者負担か。 ・納入業者は現行マイクロEVを改良しバージョンアップした改良型を制作中と聞くが、導入計画などはあるか。 <p>②デマンド交通システムにより、デマンド型乗り合いタクシーのインターネット予約を導入し、利便性の向上を図ることが期待されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシステムの運用が開始されたのはいつか。 ・システムに対応している町内事業者は何社か。 ・運用開始からネット予約は何件か。この期間、従来の電話予約は何件か。 		
			2.鳥獣対策DX実装プロジェクトについて	<p>鳥獣対策DXでは諸費を除き5,400万円余が投入され、ワナ監視装置やドローンの導入で捕獲の効率化や捕獲情報の一括管理を行い猟友会、町職員の業務負担を軽減している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシステムは直接鳥獣を捕獲するものではないが、関係者の負担軽減によって捕獲数の増は見込まれるのか。見込んでいるとすれば何パーセント増を予想しているか。 ・町職員の業務時間が1日当たり82分から18分に軽減されたと報告書にあるが、ペーパー上だけでなく、負担軽減の実感はあるか。 	町 長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(5)	(7)	山崎 誠 (一問一答)	3. 誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生について	<p>このプロジェクトは令和4年度に諸費を除き3億6,400万円余が投入され、令和5年度諸費を含め3億8,200万円余が予算化されている。</p> <p>①ポータルサイトであるきびアプリについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> • これまでにスマホへのダウンロードは何件か。 • ダウンロードは係員が出向いて個別に行うと聞いている。対象者は何人を想定しているか。ダウンロードの最終目標数は何人か。 • ダウンロードして頻繁に使用した場合、通信費など公費補助はあるか。 • スマホを持たない人はどうなるのか。パソコンにダウンロードできないのはなぜか。 • スマホを持たない人にスマホを貸し出す旨であるが、その際、本人負担はどの程度発生するか。また、目的外使用はできないようブロックされているか。 • きびアプリは、誰一人取り残さないプロジェクトの要であるが、スマホを使いづらい視覚障がい者はどのようにフォローするのか。音声対応はできるのか。 • また先日、政府が公表したスマホに不慣れな人のスマホ利用推計によれば、70歳以上の57.9%は利用していないか、ほとんど利用していないである。買い物、医療、移動など最も利便の対象となる高齢層のフォローはどうするか。アクセスできなければ絵に描いた餅である。現実的な対策が必要である。 <p>②介護、高齢者見守りにについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • きびアプリを開発した十字屋が主体となり生活相談窓口「きびコンシェルジュコールセンター」を構築するとされている。コールセンターは何時、どこに開設されるのか。町民への周知はどのようにおこなうのか。 • 困りごと相談の「なんでもサポーターズ」は当面、民生委員を想定しているとのことだが、全員がサポーターズになるのか。それとも任意か。また、サポーターズはボランティアか。案件により報酬などが発生するのか。報酬発生となれば、財源はどうなるのか。 • サポーターズの活動と社協の活動が重なる部分が出てくると思われる。その調整はどのように行うのか。 <p>③買い物支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> • きびアプリ内にバーチャル商店街を構築するとしているが、完成時期はいつ頃か。商店街は町内の小売事業者のみで構成されるのか。 • バーチャル商店街に登録した場合、小売り事業者にIT機器は必要ないのか。必要な場合、経費負担はどうなるのか。 • 買い物の予約受付、物品調達、配送を想定すると町内 	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(5)	(7)	山崎 誠 (一問一答)		<p>のキャパシティで到底採算が合うとは考えられない。人件費、配送の燃料代など経費は商品代金に上乗せされるのか。上乗せしないとすればどこが負担するのか。</p> <p>・現在、買い物アプリによる支援は特定の業者になっており商品のラインアップも限定されている。1日当たり平均何件の注文があり、売上高はどの程度か。配送などの経費は誰が負担しているのか。</p>	
			ため池の防災対策について	<p>2018年7月西日本豪雨の後、町内のため池298箇所の緊急総点検が行われ、危険度に応じA、B、Cのランクが付けられた。集中豪雨は年々激しさを増しており、今年も他県ではため池決壊の被害が報道されている。</p>	町 長
			1.危険度の高いため池のその後の対策	<p>2018年9月議会で、改修の必要な危険度Aランクは16箇所との答弁であった。必要な対策は講じられたと承知しているが、現在の状況を尋ねる。</p> <p>①Aランクのため池は現在何箇所あるのか。緊急に対策の必要なため池はないのか。</p> <p>②また、A、B、C各ランクのため池はそれぞれ何箇所、どのような対策を行っているのか。</p>	
			2.水位の監視について	<p>日常的な管理、監視のほか、豪雨による急な水位上昇に対応できる管理体制はあるのか。例えば、水位の自動監視システムなどの対策は取られているのか。</p>	町 長
			移動図書館の運用について	<p>6月1日から移動図書館「こっぷり号」の運行が始まった。図書館に来られない人にとって嬉しいニュースである。特に子どもたちにはさまざまな本と身近に接する良いきっかけになり、情操が養われると思う。充実したサービスを提供するため運用の実状を尋ねる。</p>	教育長
			1.巡回スタッフの構成	<p>案内チラシによれば3コースを設定し、第1、第3の火、水、木曜日に計10箇所の施設を巡回する予定となっている。2人1組で巡回すると聞いているが、運転手は専属か。</p>	
			2.巡回場所と運行の期間	<p>①巡回場所は予定の10箇所以外でも希望があれば巡回可能か。</p> <p>②冬期も含め通年運行するのか。</p>	教育長
3.「こっぷり号」に無い本の貸し出し対応	<p>①巡回途中で貸し出され、貸し出し希望に沿えない場合の対応。</p> <p>②希望の本が「こっぷり号」にも図書館にも無い場合、図書館では県立図書館など他の図書館と連携し希望に応じているが、「こっぷり号」でもその場で対応できるネット機材は搭載しているか。</p>	教育長			

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
6	4	石井壽富 (一 括)	デジタル田園都市国家構想交付金事業について	デジタル田園都市国家構想交付金事業について、吉備中央町新山地区において、マイクロ EV の実証実験オープン式が昨年行われたが、地域住民等から、吉備中央町の山間部の道路や坂で後要は試乗したが怖い、安全性に欠けるなどの意見等があるとのことであるが、そのマイクロ EV のその後の利用の実態や安全性などについて、次の内容を問う。 ①現在のマイクロ EV 10 台の活用状況はどのようになっているのか、お尋ねしたい。 ②吉備中央町のような山間部で山坂のある場所での運転に危険性のあるマイクロ EV の導入について、どのような経過を踏んで導入したのか、また、入札はされたのか、さらに、何社の応札があったのかお尋ねしたい。 ③今後のことであるが、現在、マイクロ EV を 10 台保有されていると認識しているが、以前の議会での質問で、今後、追加の購入は考えていないと答弁されたが、今年度のマイクロ EV 関係の予算資料では、GPS や補足の備品を整備されるとのことであると認識している。このような危険なマイクロ EV は町民の方も利用されないし、いっそ購入先に返却されたらどうか、また、三輪車についても、一般公道では走行できないし、冬は幌がないため寒くてとても利用は出来ないなどの町民からの意見もあり、これも返却されたらどうか、お尋ねしたい。 ④もし、町民が利用されたとしても、事故でも起こったときの損害賠償はそうになっているのか、また、もし加入されたらと答弁されたならば、何という保険会社かお尋ねしたい。	町 長
			2.N スクエアについて	①現在、かよう青空市場に隣接した敷地に、ナカシマホールディングスが建設している N スクエアについてであるが、これまで当建物はナカシマホールディングスが自前で設置・運営し、テナント誘致や一般にも開放するとお聞きしていたが、漏れ聞こえてくるには、町（公共）の施設が出来るとの話もでており、本年度予算にも盛り込まれるとお聞きする、この話は本当であるかお尋ねしたい。本当であるならば、議会や町民にも報告や相談が無いのはどういったことか。議会軽視ではないのか、お尋ねしたい。 ②仮に、町（公共）の施設が出来るとしたならば、運営費等について、未来永劫、町の負担となるのではないか。本件は許しがたい。お尋ねしたい。 ③全て、業者の言いなりではないのか、お尋ねしたい。	町 長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(6)	(4)	石井壽富 (一 括)	3.健康特区、遠隔医療等について	<p>①今年度、岡山大学との遠隔医療を吉備高原医療リハビリテーションセンターと行われると、漏れ聞こえてくるのですが、吉備高原医療リハビリテーションセンターは、岡山大学との遠隔医療についてご存じなのでしょうか。お尋ねしたい。</p> <p>②もし仮に、遠隔医療を実施するのであれば、吉備ケーブルテレビの光ファイバーの容量で対応できるのか、お尋ねしたい。</p> <p>③町は、デジタル田園健康特区の指定に昨年なったが、現在、規制緩和がなされているのか、なされていないとするならば、どのようなスケジュールで規制緩和されるのか。また、岡山市とは調整ができているのか、お尋ねしたい。</p>	町 長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
7	10	渡邊順子 (一問一答)	子育て世帯応援 金支給制度につ いて	この制度は、子どもたちの健やかな成長と子育て世帯の定住を促進するため、子育て世帯に対して出産、育児に係る応援金を支給するものだが、具体的に尋ねる。	町長
			1.対象者につ いて	町内に移住し、住民登録をし、出産後も新生児とともに引き続き10年以上本町に定住する意思を持っている方となっている。この制度開始から、対象者がどのくらいいるのか。	
			2.支給額につ いて	第1子は、100万、第2子以降は30万である。どの子も100万にはならないか。	
			3.移住者の子 どもに対する支 援について	本町での出産育児に対する応援は、勿論だが、定住促進が進む中で、移住世帯の子どもたちの数も増加している。本町の子どもたちは皆宝である。宝となる子どもたちの応援を拡充できないか。	
			移動図書館の運 用について	町内に図書館が2館あり、新たに6月1日に移動図書館車「こっぷり号」が運用開始された。これによる図書館業務について尋ねる。 ①第1・第3の週3日、1日に3~4カ所回るが、最後の場所で本が少なくなった時の対応は。 ②今まで出前図書館があったが、今後、人が多く集まる場所、例えばイベントや集会などに希望すれば移動図書館車を出張してもらえるのか。 ③運用には2人体制であるが、通常業務に支障はないのか。業務増加に伴い職員の増員や、司書資格など専門的な職員の増員など、今後の計画は何かあるのか。	教育長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
8	5	丸山節夫 (一問一答)	国庫交付金について 1. デジタル田園都市国家構想交付金事業について	令和4年度事業の主な実施内容は、タイプ1として、①交通DX実装プロジェクト②鳥獣対策、タイプ3として、誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティ創生事業である。 当該年度の事業終了に際し、次の内容を問う。 ①事務事業の実績に対する評価及び効果検証の進捗状況。 (KPIを含む) ②評価に際し、各事業の課題、問題点を如何に捉え、今後の町民ニーズ、期待に即すのか。 ③令和4年度の事業実績を踏まえ、成果、評価に関する町長の受け止め、感想及び令和5年度の事業着手に対する町長の思い。	町長
			経営所得安定対策について 1. 水田活用の直接交付金(5年水張ルールの具体化策)	令和4年度から5年間、水張ルールの具体が国から示されたことにより、係る町の早期対応は不可欠と考える。水張とは、水稲作付けを基本とするが、但し書きで(灌水管理を一か月以上行うこと)と明記されている。この場合の確認方法等を含め、町の対策・方針を問う。	町長
			定住促進について 1. 移住定住対策について	町では人口減少対策の一環として、移住定住(若者や子育て世代など)の促進を展開している。 ①中でも移住希望者が望む田舎暮らしに不可欠となる安心安全な水の確保(簡易水道の未整備住宅)に対する助成措置の創設について ②役場直轄の移住受け入れ体制の整備について(移住相談員の創設など) ③吉備高原都市東西住区について ・分譲状況 ・未分譲地の販売方法(対区画の条件など) ・全区画分譲後の戦略(スーパー誘致等)	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
9	6	河上真智子 (一問一答)	公用車の広告的活用について	デジタル田園健康特区事業を始めとする町の施策について 町民への PR が不足しているように思える。多様な方法でアピールが必要。	町 長
			1. 車体への広告掲載	町の保有する多くの公用車を活用し、視覚的に PR を行うことで施策への関心が高まるのではないか。	
			2. 『障がい者アート』の活用	福祉の町として、障がい者への理解・共生を進めるために車体へのラッピングを取り入れてはどうか。	
			医療・福祉の充実について	自らの経験を通じ、町内の医療・福祉体制の更なる整備の必要性を痛感した。『住み慣れた地域で最後まで』の目標に近づくためには一層の体制の整備・充実が必要である。	町 長
			1. 在宅生活を支える看護体制	町内には 24 時間対応が可能な訪問看護ステーションがない。看護師の介入が必要な在宅患者とその家族が安心して生活できる環境整備が必要である。	
			2. 内科入院病床の確保	在宅生活を安心して行うためにも 必要に応じて内科入院ができる病床の確保は必須である。	
3. 医療福祉の連携システム構築の推進	患者を取り巻く医療と福祉の情報連携システムを導入することにより 相互の情報伝達が確実になり、必要な対応が迅速にできる。また、担当者の負担軽減や より良いケアにつながる。				

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
10	11	西山宗弘 (一括)	荒廃地について	農地及び空き地等の荒廃地が増えていますが、何か良い対策はあるか尋ねる。	町長
			有害鳥獣について	現状と今度の対策について尋ねる。	町長
			公共施設の管理について	設置後の管理について尋ねる。	町長
			教育行政について	小中学校の生徒児童の問題点の把握はできているのか尋ねる。	教育長
			入札について	活性化の為に町内業者優先的に出来ないか尋ねる。	町長